

*2/14 第6回推進委員会

[学園長による本年度総括と来年度の展望]

いけだ学園

- ・作業部会と教科部会を立ち上げ、それぞれに小中の先生が意見交流した。
- ・教科部会では、それぞれの専門的な知識や指導のポイントなどを交流。
- ・小中の先生が、抵抗なく意見交換出来るようになってきているのは、大きな成果である。
- ・小小連携が進んでいることで、中学入学時にスムーズなスタートをきれている。
- ・複数ある部会の中でも、いけだ学園は何をめざしてやっていくのかを明確にし、ひとつの柱として、小中一貫教育を深化させていきたい。



しづたに学園

- ・「児童生徒交流会」を、学期に1回、小学校児童会と中学校の各学年学級代表が集まり、一緒に話し合いをしている。この際には、中学生がファシリテーターとして活躍している。
- ・何よりの成果は、小学校時代の上の学年の子どもが、中学校に入って立派に話している姿をみて「中学校にいくとあんなに成長できるんだ」と感じられることである。
- ・小中で、「いじめについて」と題して、一緒に考えている。
- ・学習面で、中から小へ学習指導を行っている。
- ・授業の中身を、小中で継続性のあるものにしていきたい。



きたてしま学園

- ・コーディネーターを中心に推進委員の先生方によって、一定の成果をあげている。
- ・小中の先生と一緒に、社会に出て役立つ人をいかに育てるかが大事だと考える。そのひとつの取り組みとして「SDGsフェスタ」を開催。
- ・先生も子どもと一緒に学び成長する関係が必要。
- ・様々な取り組みを通して、人権を大切に作る学園を目指していきたい。



いしばし学園

- ・小から中へ数学、中から小へ体育の授業で、相互の入り込みを行った。
- ・地域防災訓練を実施。主催は地域だが、小・中に加え、保育所も一緒に参加して行った。地域に対する防災意識の向上につながった。
- ・WITHの日は、全体会、授業検討会、分科会として開催。
- ・全大会では研修会を実施。中学校の進路指導について講話。小学校の先生には初めて聞く話もあり、非常に興味深い研修となった。
- ・研究授業では、小中一緒に指導案検討会から行き、学園として授業作りしていった。



ほそごう学園

- ・義務教育学校として、入学が1年生、卒業が9年生としての学習活動を先生方で共有することは非常に難しいが、3ステージ制を意識して取り組むことで、少しずつではあるが、良い変化がみられる。
- ・9年間を見通した人権総合学習に力を入れている。今年は、全国サミットでも取り組みを発表した。
- ・宿泊行事について5、7年生の合同自然学舎にするなど検討中。
- ・5、6年生の部活動への参加や、前期、後期統合の委員会活動も考えている。

